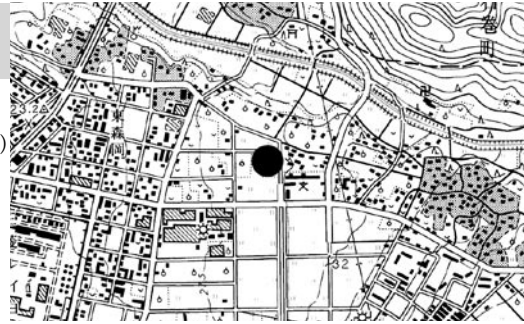


にしうら  
西浦遺跡

所在地 豊橋市石巻町  
(北緯35度47分09秒 東経137度26分15秒)  
調査理由 道路改良工事(主)東三河環状線  
調査期間 平成18年7月～平成19年3月  
調査面積 6,700㎡  
担当者 宮腰健司・鈴木正貴・岡久雅浩



調査地点(1/2.5万「豊橋」)

**調査の経過** 調査は愛知県建設部道路建設課による県道東三河環状線の建設工事に伴う事前調査として、愛知県教育委員会の委託を受けて平成18年7月から平成19年3月にかけて実施した。全体をAa区からE区の7調査区に分けて調査を行った。

**立地と環境** 西浦遺跡は、石巻山の南麓に広がり、三輪川左岸の河岸段丘北端部に立地する。現地表面の標高は約30mであり、段丘下との比高は約10mある。また、調査区は南東側にある急峻な尾根から広がる扇状地の末端に位置しており、灰白色の礫層の基盤が波状に上下している。基盤が深く沈み込む箇所は網状河川のなごりと思われ、遺跡の土地利用もそうした地形と相応している。遺跡は現在の豊橋市石巻町の金田集落の西半分に相当する範囲に広がっており、今回の調査区はそのなかでも西端にあたる。周辺の台地端部には多くの遺跡が存在しており、白石遺跡や高井遺跡群など、とくに弥生時代から古代にかけての遺跡が多い。

**調査の概要** 今回の調査で確認された遺構は、大きく弥生時代中期～古墳時代前期、古墳時代後期、平安時代～鎌倉時代、戦国時代～江戸時代前期、江戸時代後期～近代に区分される。

**弥生時代中期～古墳時代前期** この時期の明瞭な遺構はE区に集中している。弥生時代中期については、E区南部で竪穴住居跡や土器棺墓などが確認されている。弥生時代後期～古墳時代前期については、多数の遺構が検出されている。この時期の竪穴住居跡はE区北部から中央部で重なり合っており、地床炉跡が明瞭に残っているものがほとんどで、複数の地床炉跡を持つものもいくつか確認された。これらの竪穴住居跡からは甕や高杯などの土器片が多数出土している。これに対して南部には方形周溝墓群が存在し、周溝から弥生時代後期～古墳時代前期の土器が出土している。また、E区北部からは弥生時代後期の銅鐸の舌と考えられる石製品も1点出土している。

**古墳時代後期** C・D・E区から竪穴住居跡などが検出された。この時期の竪穴住居跡からは6世紀後半～7世紀後半と考えられる湖西窯系の須恵器が出土することが多い。これらの竪穴住居跡のなかにはカマド跡が残存しているものも確認されており、とくにC区最南部の649SB・E区西部の2380SB・E区北東部の2745SBなどのカマド跡は残存状況が比較的良く、649SBと2745SBからはカマドで用いられたと考えられる支脚状土製品が出土している。

**平安時代～鎌倉時代** 遺構としては、竪穴住居跡と溝などが確認された。この時期の竪穴住居跡はBa区でも検出されていることから、この時期には居住域がやや台地内部にまで広がったと考えられる。この時期の竪穴住居跡からは、少量ではあるが10～11世紀代と考えられる灰釉陶器が出土している。E区では、時期の異なる溝がいくつか確認された。これらの溝は中央部でほぼ直角に屈曲していることから区画溝と考えられ、その内側に居住域が展

開したものと考えられる。

**戦国時代～  
江戸時代前  
期及び江戸  
時代後期～  
近代**

遺構としては、区画溝、用水路、水田跡、掘立柱建物跡、井戸などが確認された。最南部のA a区南半部には水田跡などの耕作地があり、その北側に用水路群があったと考えられる。溝の位置関係や方位などから方形の土地区画がなされていたと考えられるが、その区画は何度か変更されていると考えられる。A a区より北側の区域は、溝で区画された内側に掘立柱建物の母屋などが建ち、その南側に井戸や多くの樹木などがあった屋敷地であったと考えられる。ここでも平行する溝の時期的な違いから、区画は何度か変更されたと考えられる。また、D区では基盤まで掘削している楕円形の大型土坑が検出された。この楕円形の大型土坑が何であるかは判明していないが、様々な状況から庭園の池ではないかと想像される。

**まとめ**

今回の調査で、西浦遺跡は、継続的ではないが各時代に集落が営まれていた複合的な集落遺跡であることが確認された。この地での土地利用は台地端部より始まり、時代が下るにつれて徐々に台地内部へと広がっていったと考えられ、土地利用の進展状況を窺うことができる。  
(岡久雅浩)



Aa区2面全体



Ab区全体



Ba区1・2面全体



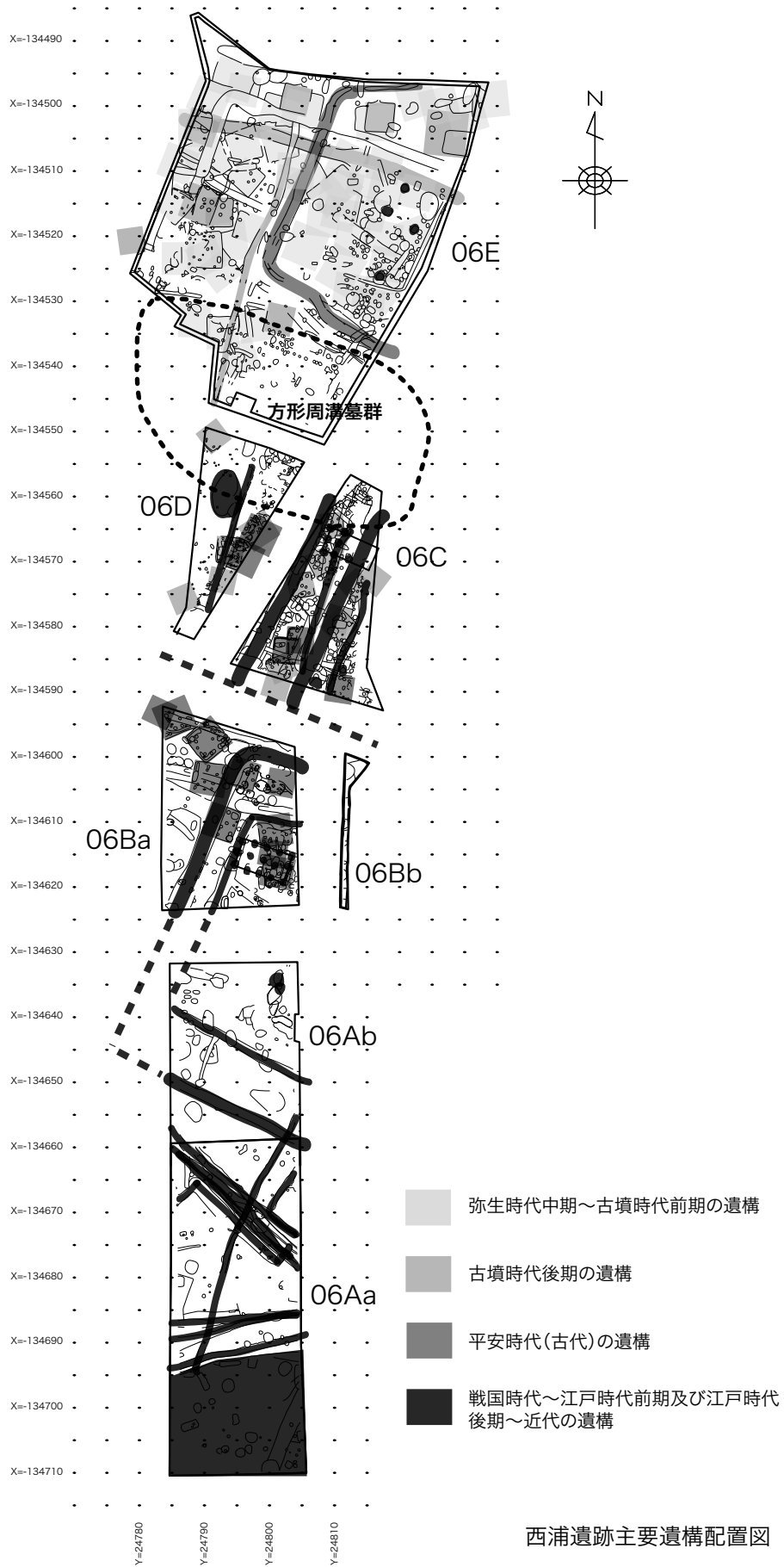
Ba区江戸時代大溝と掘立柱建物跡



C・D区1面全体



C区江戸時代後期の井戸



西浦遺跡主要遺構配置図 S=1/1,000



D区江戸時代後期の楕円形大型土坑



C・D区2面全体



C区カマド跡と支脚状土製品出土状況



D区古墳時代後期の竪穴住居跡



E区2面全体



E区弥生時代後期の竪穴住居跡



E区2745SBの遺物出土状況



E区銅鐸石製舌出土状況



E区南部方形周溝墓群



E区土器棺墓出土状況